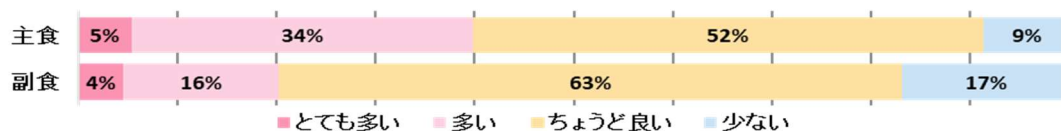


三田市民病院食事アンケート集計結果

【調査について】

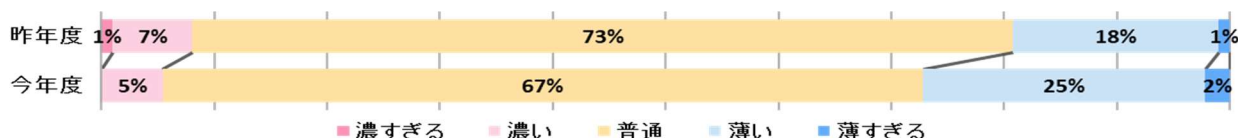
- ・実施日:令和 7 年 6 月 18 日昼食時
- ・対象者:食事形態が一口大以上の患者
- ・配布 146 名、回答者数 93 名・・・回答率 63.7%

1. 食事の量について



昨年度の嗜好調査において「主食量が多い」「副食に対して主食の量が多い」といった意見が寄せられたことを踏まえ、今年度の調査では回答項目を主食と副食に分けて実施した。その結果、『とても多い・多い』と回答した人が主食は 39%、副食は 20%であった。一方、『ちょうど良い』と回答した人が主食は 52%、副食は 63%であり、量が多いと感じる要因は主食であると考えられる。

2. 食事の味について【前年度比】



昨年度と比較すると『普通』と回答した人が 6%減少し、『薄い・薄すぎる』と回答した人が 8%増加し、『薄い・薄すぎる』と回答した人は 8%増加した。年代別で比較すると 60 歳以上の 30%が『薄い・薄すぎる』と回答した。

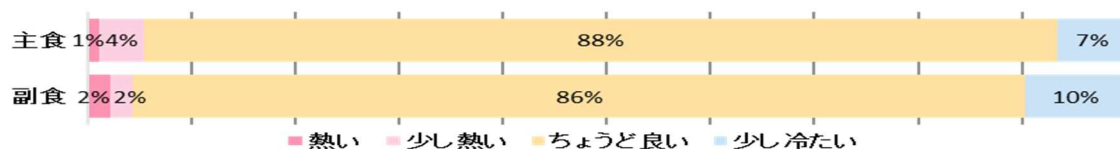
3. 盛り付けについて【前年度比】



『とても良い・良い・普通』と回答した人が 96%であり、盛り付けには概ね満足しているという評価であった。

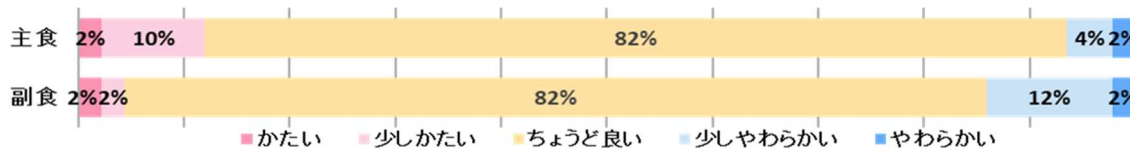
昨年度より『悪い・とても悪い』と回答した人が 4%減少した理由として、献立改善や食器を変更したことが影響していると考えられる。

4. 温度について



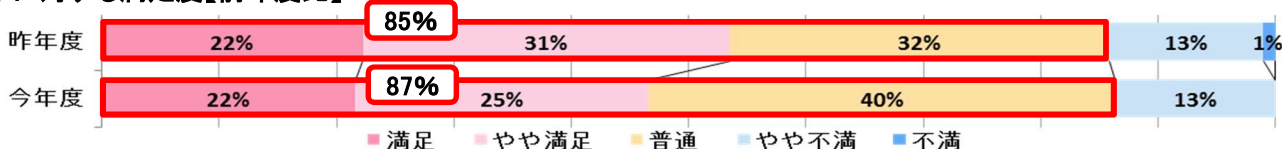
昨年度と同様に主食・副食共に 85%以上が『ちょうど良い』と回答しており、概ね適温で提供できているという評価であった。

5. かたさについて



『ちょうど良い』と回答した人が主食、副食共に 82%であり、かたさには概ね満足しているという評価であった。

6. 食事に対する満足度【前年度比】



『満足・やや満足・普通』と回答した人は 87%であり、食事全体の満足度は概ね良好であった。高い評価が得られた主な要因は、献立改善や食器を変更したことが影響したと考えられる。今後も現状の満足度を維持し、より良い改善に向けて検討していきたい。